

# 宍粟市新病院整備に係る基本構想【概要版】

この宍粟市新病院整備に係る基本構想は、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる令和7(2025)年、さらにその後の将来にわたって、地域住民の生命と健康を守り、安心して安全な医療を提供していくために、新病院の方向性をまとめたものです。

今後、この基本構想に基づき、より具体的な内容について検討を進めていきます。

## 現病院の現状

○ 昭和50年4月、組合立宍粟郡民病院として開設、現在は宍粟市が開設者となり、公立宍粟総合病院として運営しています。

### ・病床数

許可病床数 一般病床 199床  
うち稼働病床数 179床 (急性期病床 95床 回復期病床 84床)

### ・診療科目等

内科、外科、整形外科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、放射線科、耳鼻咽喉科、産婦人科、精神科、リハビリテーション科 12診療科  
人間ドック、脳ドック、特定健診

### ・患者数 (令和元年度実績)

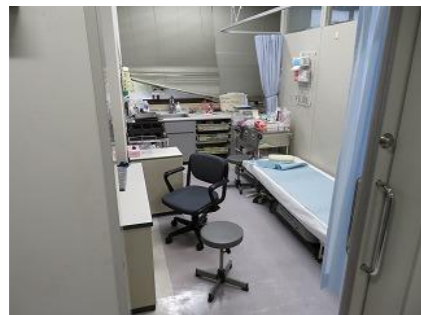
◇ 1日平均外来患者数 400.0人 ◇ 1日平均入院患者数 140.6人

○ 外来、手術、検査、病棟機能を有する病院本館(南館)は、昭和60年3月の建築で、建築から35年が経過し、天井裏の水漏れなど様々な課題を抱えています。

- ・給排水配管、空調配管、医療ガス配管、電源ケーブル等(一部を除き、建築当時のまま)の敷設替えも困難
- ・診療スペース等の確保や患者プライバシーの確保、アメニティ機能の充実への対応が困難
- ・駐車場からの患者動線及び院内の患者動線も不便な状況



<天井水漏れ>



<診察室>



<中央待合>



<和式トイレ>

○ 経営状況は、令和元年度決算においては、平成9年以来、22年ぶりの黒字決算となり、収支改善の芽が出始めたところです。

今後も引き続き医師等の確保に努めるとともに、経営の健全化に取り組んでいきます。

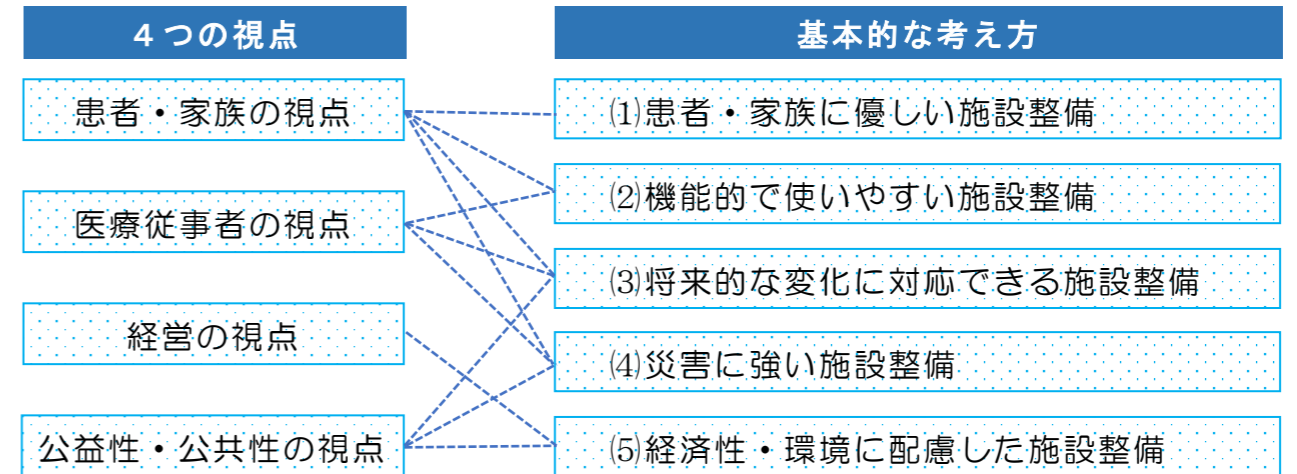
## 新病院の基本的な考え方と役割

市内唯一の病院として、また地域の拠点病院として、地域の医療機関等と連携・協力しながら、将来にわたって地域住民の生命と健康を守り、安心して安全な医療を提供します。

### 新病院の役割

① 救急医療	⑤ 感染症医療	⑨ 在宅医療の推進
② 小児医療	⑥ ヘき地医療	⑩ レスパイト入院
③ 周産期医療	⑦ 病診連携の推進	⑪ 健康増進、疾病予防
④ 一般医療	⑧ 介護サービスとの連携	⑫ 災害対応医療

### ○ 施設整備計画



・新病院の病床数及び診療科目構成、整備規模などは、基本計画で検討します。

### ・整備スケジュール

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
基本構想	基本計画	基本設計	実施設計	建築工事			移転開院

### ・整備予定地の概要



所在：  
宍粟市山崎町中比地  
東亜林業株式会社跡地

面積：  
全 38,678.80 平方メートル  
のうち必要部分

